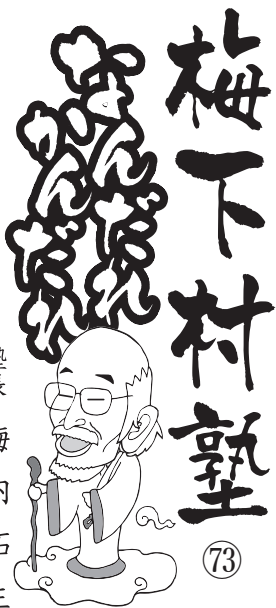


# 「森と水と命の惑星」国際会議

## ～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

### 芭蕉の俳句とセザンヌの絵はつながるか？(1)

光の変化の「妙」を求めた印象派絵画の全盛時代にセザンヌは自然は円錐、円柱、球体で表現できると主張して独自の絵画理論を展開した。ゴーギャンやピカソがこのセザンヌの世界の影響を受け、引き継いでいるといわれている。

WHOジュネーブ本部に勤務していた時に、仕事が終わる5時を過ぎてから、世界のいろいろな異なった文化で育ってきた同僚たちと欧米のキリスト教文化、仏教文化、道教と儒教文化、日本文化などに關して、ワインを飲みながら自由に意見を交えたことを思いだした。

日本人の私に質問が飛んできた「日本人は芭蕉の俳句のどこに感動しているのか？」、私はとまどってしまっただ。芭蕉の俳句は中学生の時に教えられたが、芭蕉がどんな世界を感じていたのかわからず、考えもしなかったし、教わることもなかった。

これがかきつけで、私が世界のいろいろな文化に興味を感じて、日本文化との関係を考えて出した。欧米キリスト文化、イスラム文化、アフリカ文化、南太平洋文化、中国文化、中南米文化など世界のいろいろな文化に出会い、感得することになった。

ある時、セザンヌの絵が話題になった。私は同僚たちに「セザンヌの絵の何処に感動す

るのか？」と聞いた。1人の同僚が「いた絵に自然の隠れた動きが感じられる」と。

それから20年も過ぎた今になって、その言葉が響いて来るのである。

### (世代を越えてつながるもの)

大船渡短歌会から15人の30作品が送られてきた。津波への思いを詠んだものであった。(元旦)、(仮設住宅)、(希望の風)、(復興への祈りと祭り)、(老いのおもい)、(志と命のつながり)にまとめ、評を行った。

### (元旦) 4首

佐々木せい子  
煌々と昇れる太陽沈む  
まで遮るものなき元  
旦となる

年の市に真っ先に求め  
たる南天は新年の床の  
間の賑わしてあり

### 返歌

元旦の空は広々晴れ渡  
り南天やどす生きる力  
を

及川智香子

待ちおれど年始を伝えるドラの音の大船渡湾より今年も響かず

スーパースカイブールの大看板つひに壊されいどど寂しも

### 返歌

津波去り音の思い出流されるドラの音響かず元旦の湾

東日本大震災から早や2年、老いを感じながら、爪痕の傷と復興への希望を元旦の日の出と、湾の船のドラの音にたくして詠んでおります。この老いの人々の生きることへの感性は大船渡第一中学校の生徒たちの詠作品と響き合います。

### (雨を忘れて合唱)

梅下村塾⑥  
歌声に想いをのせて響かせて

(中一・女子)

歌声と希望が一緒に響き合う

(中一・男子)

若者には力がみなぎっております。外の大雨を忘れて合唱の世界に入っております。老いの世代は長い人生の

知恵として、変わりゆくものとかわらぬものとのバランスをわかっております。この知恵の根っこが地域の若い世代へ受け継がれ、感動として詠まれております。

2月19日の第1面には「被災地のいま世界に発信 青年の船気仙入り 日本と10カ国の200人余 両市で視察・研修活動」が掲載されている。自然災害との遭遇は世界各地に起こりえる。自然認識と社会認識を世界の人々が共有することは極めて重要である。「芭蕉とセザンヌの絵はつながるか？」はここに響いて来る。

世迷言は世界スキーク競技のライバル同士の米国のサラ・ヘンドリックソンさんと日本の高梨沙羅(サツ)さんのサラ対決に触れ、スポーツ競技における心技体の「妙」を「思いきり」のよさから述べている。気仙地域の若者は老いの持っている人生の「妙」を受け継ぎ、自分の血肉に消化して、国の内外に飛ばしていくことを願う。